

わかあゆ 夏号

静岡市立清沢こども園
【令和6年度 重点目標】
話そう 聞こう 伝えてみよう

清沢こども園に夏がきました。山々の緑が色濃くなり、こども園前の黒俣川の透明度も増し、自然も変化しています。4月スタートは年中児2名でしたが、6月から3歳のお友だちが仲間入りし、賑やかな夏を迎えました。「もっとやってみたい」「こうしてみようか」と思いを伝え合いながら継続して遊ぶ姿が増えてきた子どもたちです。

おおきいおやまをつくらう

トンネルつながった～

温泉も作ろう。2人で持てば重くないよ



もっとやりたい・こうしてみよう

あれ？・こうしたらどうかな？・うまくいったね…

思いは、果てしなく続きます

お山が崩れてしまう大ピンチ！
「じゃあ、すべりだいにしよう」
「そうだね」
新たなものを作り出す発想力！



5月から始まった大きなお山作り。もっと大きく、もっと高く、トンネルも…と2人の思いは膨らんでいきました。温泉にしようとお水も入れたのですが、砂にしみ込んでしまうので、どうすれば上手く水がたまるのか考える場面もありました。継続して遊んでいる中で、形が崩れてしまうと「じゃあ、すべり台にしよう」と今度はスコップで丁寧に掘りながら階段を作りました。壊れておしまいでなく、新しい発想に繋げていくこと。現状に満足することなく探求心が芽生えてきました。

清沢こども園の夏



なつまつり

初めておみこしを担いだ時は2人で反対側を向いちゃったけど、本番では3歳のお友だちもリードしてかっこよかったね！

かわいいお友だちが仲間入りしました



こども園で初めての年下のお友だちが入り、「おにいちゃん、おねえちゃん」と慕われ新たな関係性ができました。2人のようにやってみたくて「わたしも」と張り切る3歳。お互いに刺激し合い、遊びや生活を通し、この夏、心も体も成長した3人です。

